



令和7年度 いわき市立四倉中学校 学校経営・運営ビジョン

- 県教育委員会重点施策
- 学校教育指導の重点
- いわき市教育大綱
 - 「地域が人を育て、人が地域をつくる」
- いわきの学校教育A B Cプラン
 - 「夢に向かってチャレンジする子どもを育みます」

【白銀の松】

しろがねの松には、光沢あるしろがねのように、銀色燦然と輝く高潔な松という意味合いがある。校歌「白銀の松」のように、四倉中学校の生徒が光り輝き、すくすくと清く正しく育つことを願っている。

校歌：白銀の松（想・学・愛）

- | | |
|----|-------------|
| 信条 | 1 よく個性を伸ばし |
| | 2 よく技能を身につけ |
| | 3 よく他人と協和し |
| 目標 | 1 巾のある実力 |
| | 2 豊かな情操 |
| | 3 逞しい健康 |

【教育目標】

心豊かで創造性に富み、実践力のある生徒

- 自ら学び、学力の向上を目指す生徒
- 自ら考え、思いやりのある生徒
- 自ら鍛え、心身ともに健やかな生徒

【目指す生徒像】

- 将来に希望を抱き、実現に向けて努力する生徒
- 自分を高めようと、進んで課題を解決する生徒
- 困難に挫けず、自ら乗り越える力を持つ生徒
- 自他を尊重し、思いやりの言動ができる生徒
- 生命と人権を尊重し、いじめや不正を許さない生徒
- 感謝の気持ちを持って他と接することのできる生徒

令和7年度の重点

生徒一人一人の「主体性」を育て、「自己有用感」「自己肯定感」を高め、たくましく生きる力を身に付けることができる教育活動の展開
～生徒の瞳が輝き、笑顔あふれる学校を目指して～

【校訓：地域の願い】

- 「白銀の松」に込めた思い。
- 地域に貢献できる人材の育成

【家庭・保護者の願い】

- 将来に目標をもち、主体的に学習に取り組む生徒
- 健康でたくましい生徒
- 道徳性と豊かな人間性をもつ生徒
- 保護者と意思疎通が図れる学校（情報の密接な交換・教育相談）

【目指す学校像】信頼される学校

- 生徒一人一人の資質・能力を最大限に伸ばし「自己肯定感」「自己有用感」が高められる学校
- 生徒一人一人を大切にしている学校
- 人との関わりを通し「道徳性」と「豊かな人間性」を育める学校
- 安全・安心が図れる学校
- 子どもが「主語」となり活躍できる学校

【目指す教師像】

- 教育愛に燃え、プロとしての使命感・倫理観のある教師
- 教師力を高めるため自己研鑽できる教師
- 生徒一人ひとりに必要な指導と支援をきめ細かくできる教師
- 組織として「和」を大切にできる教師

【教育課題1】

知識の理解の質を高め3つの資質・能力を育む

1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善

- ・単元や授業のまとまりの中で育成すべき力を明確にした授業と評価
- ・「学びの変革プラン」「授業スタンダード」を活用した授業改善
- ・主体的に考え、表現し、伝え合う言語活動の充実（思考ツールの活用）
- ・A I を使いこなす資質、能力の育成（GIGA 端末の積極的活用）

2 学力の基盤となる「読解力」の向上

- ・朝読と家読の推進
- ・学校司書との連携（各教科との連携、読書環境整備）

3 自己マネジメント力の育成と主体的な家庭学習への取組

- ・「定期テスト」におけるP D C Aサイクルの習慣化（助言と指導）
- ・家庭学習の内容を自ら決め自ら取り組む「自主学習ノート」活用の工夫

4 可能性の伸長

- ・各種検定、コンクールへの積極的な挑戦・支援

5 個に応じた学習支援

- ・全国学力・学習状況調査、県学力調査の活用（R-PDCA、個の学力分析、I-SUS調査）
- ・E-room と特別支援学級支援の充実

- ビデオ撮影による自己授業の分析（1人1授業研究会）
- 授業改善のポイントを絞った授業実践
- 相互授業参観
- I C T サポートーとの連携
- 全校一斉読書タイムの推進
- 学校司書との連携
- 個に応じた家庭学習への指導と支援
- 自主学習への指導支援（R P D C A）の推進
- 全国学力学習状況調査、ふくしま学力調査分析と授業の改善策検討
- 生徒一人一人への学習支援

【教育課題2】

健やかな心身の成長と「自己有用感」「自己肯定感」の向上

1 豊かな心を教育活動全体で育成

- 重点：「思いやりの心」「感謝の心」
- ・学校生活や学校行事における生徒の行動場面を見逃さない指導
- ・道徳科の授業の充実（考え議論する道徳）

2 心身の健康増進と安全な生活習慣の育成

- ・交通安全・防災・カーボネutral教育の推進
- ・望ましい生活習慣の指導
- ・体力向上推進計画の全校的な実践
- ・生徒指導・教育相談体制の充実

3 総合学習の充実

- ・学年テーマによる調査・発表・体験活動
- ・キャリア教育・進路指導の推進
- ・外部講師を活用した各種教育の実施（いじめ、メディア、有権者等）

4 生徒会活動、特別活動の活性化

- 重点：特色ある生徒会活動の推進
- ・委員会活動の活性化（学校委員会の定期開催）
- ・主体的で自主的な生徒会活動

5 多様性の受容・持続可能な社会への意識化（ダイバーシティ&インクルージョン）

- ・差別や偏見のない社会を目指す態度の育成
- ・人権教育の推進

6 健全な成長を促す部活動の推進

- ・部活動基本方針の遵守

- 意図した仕掛けと場面を見逃さない指導
- 「あいさつ」の励行
- 適切な道徳の授業実践と評価の累積
- 関係団体と連携した防災学習の推進
- 問題行動の早期発見・組織的で迅速な対応（ほう・れん・そうの励行）
- 生徒一人一人に寄り添う生徒指導（多面的・多角的な視点と理解）
- S C 等関係機関との連携
- 4つの資質・能力の育成を位置付けた総合学習の実践
- 公民館等との連携（学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業）他
- 係活動や各行事での生徒指導の機能を活かした実践（一人一役の活躍の場）
- 「無言清掃」の実践
- 県や市の活動指針を基に適切な部活動運営の推進
- 部活動による心身の鍛錬、自己表現の確保

【教育課題3】

地域を愛し、愛される（信頼される）学校づくり

1 情報発信による学校理解促進

- ・「学校だより」の発行
- ・各種たより・通信類の発行
- ・H P や通信機器の有効活用
- ・校内行事への参観機会の確保
- ・「学校へ行こう」週間の啓発

2 学校と保護者の相互理解促進

- ・授業参観・懇談等の実施
- ・こまめな情報交換と教育相談等による保護者との意思疎通

3 地域行事への積極的な参加協力

- ・PTA や地域（公民館）との連携
- ・四倉夏祭りへの参加と協力

4 学校の教育力強化

- 改革の推進
- ＜学校評価の実施＞
- ・保護者の声の集約（各種アンケート）
- ・教育課題の把握（学校の自己評価）

- ＜学校評議員会の活用＞
- ・地域の声の集約（批判と期待）

- ＜改善策の検討＞
- ・全職員の共通理解と共通実践

5 安全・安心な学校への取組

- ・「報告・連絡・相談」体制確認
- ・リスクマネジメントとクライシスマネジメント体制の強化
- ・教職員の不祥事防止への取組
- ・生徒の事故防止への取組
- ・困りごと調査等の実施 等

- 「学校だより・白銀の松」やホームページ・各種通信等による教育実践の紹介
- 教育実践状況の積極的な公開
- 教育活動公開の機会確保
- 地域行事へのP T A や地域と連携した取組
- 関係団体との連携
- カリキュラム・マネジメント機能の活性化（CAPDo）
- ・意見集約の機会確保
- ・独自アンケート調査分析
- ・学校評議員会の開催
- ・改善策の検討
- ・教職員の共通理解と実践
- 合い言葉は「凡事徹底」
- 「さ（最悪を想定して）・し（慎重に）・す（素早く対応）・せ（誠意を持って）・そ（組織的に）」の周知と実践
- 服務倫理委員会の活性化
- 風通しの良い職場づくり
- 適切な安全指導と日々の安全点検
- 教師間のコミュニケーションの充実